

F-42 デルファイ方式による未来生活の予測(その1 総説)

生活指標研究所 ○山本秘代 宇川和子 杏藤道香 前川当子
海津美代子 武田満す 八倉巻知子(助言者) 八度雄一郎

目的 本調査研究の目的は 生活指標の基礎資料をうることであって このために
デルファイ方式により 生活全般に対する未来像の予測を行うことである。

本調査研究は 従来行われている生産面あるいは自然科学面を主とする生活未来予
測とは異って、生活そのもの、予測であるから 本調査研究の成果は、生活指標の基
礎資料となるとともに 家政学の将来的方向をさぐる一助にもなるものと考えている。

方法 本調査研究は 衣 食 住 児童 教育 家族 家族経済—経営および統計
調査等の専門家により構成されたチームによって検討案出された生活予測のための88
項目に対し、アンケート調査により、斯界の指導的立場の方々の忌憚ない意見を収集
し、その結果を分析検討するものである。 なお デルファイ方式に従い今後さらに
同一内容のアンケートをくり返して 回答者の意見を収れんさせる予定である。

結果 本アンケート調査は、本年6月21日—7月20日の間に行われ 発送票数
408に対し256票の回答を得た。 各専門分野別回答は 衣生活関係者57票、
食生活関係者51票、住生活関係者21票、家族生活関係者58票、家族経済—経営関係者
57票、その他12票であった。 これらの各専門分野別専門家回答結果と総平均的結果
との比較 またさらに年齢別による回答結果との比較等に各のニューアンスを得た。